

ヒメスズメバチ

生活の仕方は、オオスズメバチと同様です。

本種の特徴は、アシナガバチ類の巣を襲い蛹や幼虫を狩るという特異な生活史を持つことです。そのため巣作りは、アシナガバチの巣作りより遅くなります。

また、営巣規模はスズメバチ類の中では小さく、働きバチの総数も数10匹を越えることはありません。そして、攻撃性もスズメバチの中で最も低いです。

富士市での現状

1966～80年では、富士市ではほとんど確認されていませんでした。

現在では、コガタスズメバチと同様に、山地を除き市内全域に分布していると考えられます。



ヒメスズメバチを確認したメッシュ

